

2023年度

殿町中学校だより

2023. 5. 12 発行

松阪市殿町1508-1 ☎21-0463

ToNoMachallenge!

◆ 新しい時代に生きる力をはぐくむために

2021年度より、新しい学習指導要領がスタートしました。

キーワードは「生きる力～学びの、その先へ」。これからの時代を生きる子どもたちに付けさせたい力を示したのになっています。

★学習指導要領とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、10年に1度、改訂しています。子どもたちの教科書や時間割は、これをもとに作られています。殿町中学校のホームページに、文部科学省「新しい学習指導要領について」へのリンクがあります。



◆ 生きる力 学びの、その先へ

さて、新しい時代に必要な力とは、何でしょうか？これから、社会は将来の変化を予測することが困難な時代に入ると言われています。子どもたちの65%は、将来、今は存在していない職業につくという予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化されるという指摘もあります。

こうした新しい未来に対応するには、変化に受け身であるのではなく、子どもたち自らが主体的に関わり、その過程をとおして、自分の可能性を生かし、幸福な人生やよりよい社会をつくっていくことが大事だといえます。

そのためには、学校で「解き方のわかった知識」だけを学習するだけでは不十分で、知識をもとにしながら、自ら考え、判断し、他の人々とともに、新しい価値をつくりだしていく力をつける必要があるのです。

◆ 子どもたちの学びが変化します

新しい学習指導要領の実施にともなって、授業も変化します。

1. 「主体的・対話的で深い学び」へ

授業では、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視されます。教師から知識を伝達されるだけでなく、得た知識をもとに周りの人たちとともに対話したり、自分の学びを振り返り、よりよい学びにつなげる、といった機会が多くなります。



2. 評価の観点が変化します。

観点が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」へと変わり、授業を通して、これらの三つの力をバランスよくはぐくみます。そして、これらの力を適切に評価するために、定期テストだけでなく、授業の中で行われる、レポートやプレゼンテーション、実技テストなどのパフォーマンスの評価も重視されます。殿町中学校では、授業開始時に「シラバス」を配布し、評価の材料を生徒に示しています。

◆ 保護者の皆さまへ

文部科学省は子どもたちの生きる力を育む力添えとして、保護者の方の働きかけの重要性をあげています。ぜひ、お子さんと学校の学びについて話していただき、学校と家庭がつながり合うことで、お子さんの学びがよりいっそう豊かになり、「生きる力」へつながっていけばと思います。

文部科学省「新しい学習指導要領」リーフレット「保護者へのメッセージ」より>

保護者の皆さまへ

子供たちの「生きる力」を育むには、
学校での学びを日常生活で活用したり、
ご家庭での経験を学校生活で生かしたりすることが、
とても大切です。

お子さんが学校で学んだことについて、
ご家庭で、ぜひ話してみてください。
保護者の皆さまの働きかけが、
子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。

DATA

保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。

例えば・・・

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ ビデオ DVD を見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む)をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。

(平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)